企業　財務　IT

マッチングで新機能

リンカーズ

潜在的課題引き出す
処方箋や企業を紹介

リンカーズは、金融機関に提供するマッチングシステムに取引先の潜在的な課題を引き出してソリューションを与える新機能を搭載し、10月から本格稼働させる。検索機能や操作性に優れるため、金融機関では取引先のマッチング相談に対応できる営業支援ツールとしても期待される。リンカーズのマッチングシステム「Linkers for BANK」は、すでに地方銀行など約20機関に導入されている。その新機能として注目されるのが「インシュー・ソリューション・マトリックス（ISM）」だ。

ISMは、オンラインで部署ごとの多種多様な課題を表示し、その処方ソールや、それを提供するデジタル企業を紹介できる。課題（大分類・中分類・小分類）、ソリューションなどの検索機能で探すことができ、部署から課題や検索概要、課題やソリューション名やその概要、課題解決できるデジタル企業まで俯瞰することも可能。

ソリューションが増えるにつれ、対応できるデジタル企業を増やす必要があるが、リンカーズは独自のネットワークで随時連携先を拡大できると見ている。

10月末には、検索した項目にタグをつけて確認できるようにし、検索者に、後でソリューションやデジタル企業に関するメールを自動的に送付する機能も搭載予定。

金融機関では、マッチング相談に対応できる人材は本部に集中し、支店では限られる。パソコンやタブレットでISMを活用すれば経験の浅い支店の若手職員でも潜在的な取引先の課題を導き出すことができる。

前佳宏・リンカーズ社長は「ISMで当社のマッチングシステムの導入を決めた銀行もある」と手応えを感じている。

シノプシス

コードの脆弱性検知
損保ジャパンが採用

シノプシスは8月30日、静的解析ソリューション「Coverity-MIRAI」を3月から稼働している。最損害保険ジャパンに採用された。自社システムでもプログラム開発におけるオープンソースやセキュリティーの脆弱性判断に貢献する。

損保ジャパンは、約30年ぶりに基幹システムを刷新しオープン系技術を採用した新基幹システム「SOMPO」の開発に採用につながった。

今後も「金融機関の効率的なシステム保守、システムダウンさせない安定運用に活用できるソリューションとして営業を強化していく」（シノプシス広報担当者）と金融機関への導入を拡大していく。

具合の検出率の高さや誤検知の低いことから

大3千人の開発者がシステムの刷新を行っているため、ソースコードの脆弱性の検証に課題を持っていた。

同製品は、損保ジャパンが使用するオープンソースのツールである「Jenkins」との親和性が高く、不

サンフィールド

太陽光・蓄電拡大へ
信販と提携し推進

再生可能エネルギー事業などを展開するサンフィールド（東京都）は、信販会社との提携ローンを活用して太陽光発電や蓄電システムの取引を拡大している。

同システムは、日中に太陽光パネルで発電した電力の余剰分を蓄電池にため、災害によ

信販会社4社と結ぶ提携ローンは、直近（5月1日～9月15日）の融資実績が157件。このうち5月に提携したジャックスが74件と約半分を占める。

また、ソニー銀行や北陸銀行などで、太陽

る停電の際は蓄電池から電力を利用できる。

Tranzax

セゾンFと新ファクタ
集合債権評価で手数

フィンテック企業のTranzax（東京都、T社）は、11月にビス「フ…クレディセゾン子会社…のセゾンファンデック…い」を…

千里眼【335】

低コストでデータ保管

Wasabi テクノロジーズ ジャパン

代表執行役員社長　黒田　和国氏

Wasabi（ワサビ）テクノロジーズ ジャパンは、他社に比べ大幅に低い料金で、高い性能と安全性を両立したクラウドストレージを提供する。2月に日本へ拠点を設立し、営業体制を強化。すでに大手行を中心に引き合いがあるという。サービスの展開や今後の戦略について、代表執行役員社長の黒田和国氏（46）に聞いた。

――現在の事業は。

「高い性能と安全性を確保した安価なクラウドストレージを提供している。料金は、1テラバイトあたり月額6・99ドルと、Amazon S3より約80%安い。独自のソフトウェアとハードウェアで低コストを実現している。データを高速でやりとりできるほか、データ保護やアクセス管理などの高いセキュリティーにも対応する」

――金融界への展開は。

「海外では、証券・商品取引所やネット証券が採用している。アクセスが少ない『コールドデータ』も、頻繁に使用する『ホットデータ』と単一料金で提供することで、ユーザーは料金を確保できるのが強みだ。そのため、電子取引の記録といった増えていくデータの保存に活用されている。また、ストレージに複雑な階層がないため、運用の簡素化にもつながる。セキュリティーについても、データの改ざん防止といった機能があり、ランサムウェアなどの脅威から保護する」

――金融界におけるれほど利用するか不明だが、分析やコンプライアンス対応のため、保存が求められている。弊社のストレージは、低コストで大容量のデータを保管できる。Amazon S3と互換性があるため、既存製品からの移行も容易に可能だ」

――今後の戦略は。

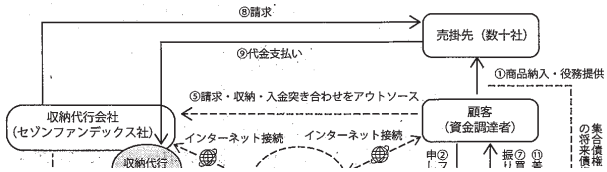
「アジアパシフィック地域の拠点として、NTTコミュニケーションズと連携し、日本国内にデータセンターを開設した。パートナー企業とともに、国内金融機関での採用拡大を目指していく」

（聞き手＝山崎　貴大）

（おわり）

くろだ・かずくに　愛知県出身、46歳。日本オラクルなどを経て、2021年アジアパシフィック地域事業副社長兼日本法人代表。

ファンデックスの〝今スグまとめ払い〟スキーム図



課題ごとに展示ゾーン

ＦＩＴ2021は、展示会場に四つのテーマ別ゾーンを設定しました。来場する皆さまの目的にあった出

サンフィールド
太陽光・蓄電拡大へ
信販と提携し推進
再生可能エネルギー事業などを展開するサンフィールド（東京都）は、信販会社との提携ローンを活用して太陽光発電や蓄電システムの取引を拡大している。
同システムは、日中に太陽光パネルで発電した電力の余剰分を蓄電池にため、災害によ
る停電の際は蓄電池から電力を利用できる。
信販会社4社と結ぶ提携ローンは、直近（5月1日～9月15日）の融資実績が157件。このうち5月に提携したジャックスが74件と約半分を占める。
また、ソニー銀行や北陸銀行などで、太陽
光発電や蓄電池システムを導入する顧客に対して、低金利の住宅ローンへの借り換え提案する事例が多い。
今後は、戸建て以外に、集合住宅向けにシステムを提供するほか、電気自動車と組み合わせた「V2H」を使った防災対策も提案していく。